

平成 27 年 5 月 14 日(木)

新川流域総合治水対策協議会事務局

愛知県建設部 河川課 計画グループ

佐藤・野村(内線 2729)

ダイヤルイン 052-954-6555

愛知県建設部 下水道課 公共下水道グループ

榎本・玉置(内線 2688・2683)

ダイヤルイン 052-954-6535

## 新川流域水害対策計画の進捗状況等について (第 3 2 回新川流域総合治水対策協議会の結果報告)

新川流域では、平成19年に特定都市河川浸水被害対策法に基づく流域水害対策計画を県と市町が共同で策定し、それぞれの管理者が連携し、河川整備や下水道整備等を着実に実施して、流域の治水安全度の向上に取り組んでいるところです。

このたび、総合治水対策協議会において、主な連携事業を取りまとめるとともに、平成26年度末における計画の進捗状況の確認及び平成27年度の総合治水PR活動について決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1) 主な連携事業について

河川整備(県)と下水道整備等(市町)が連携して事業を行い、浸水被害軽減に取り組んでいるケースをとりまとめました。

#### 2) 平成 2 6 年度 新川流域水害対策計画の進捗状況

流域水害対策計画に位置づけられた様々な対策の実施状況や進捗状況など、協議会においてモニタリングした内容についてお知らせします。

#### 3) 平成 2 7 年度の総合治水PR活動について

総合治水の取り組みには、流域住民の皆さまのご理解、ご協力が重要であるため、各種PR活動を行っているところです。本年度は、流域内のショッピングセンター等(テラスウォーカー宮など)におけるPRイベントを重点的に実施します。

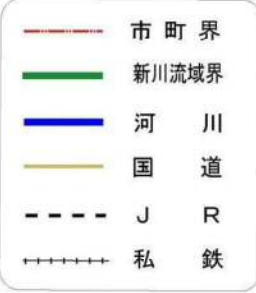
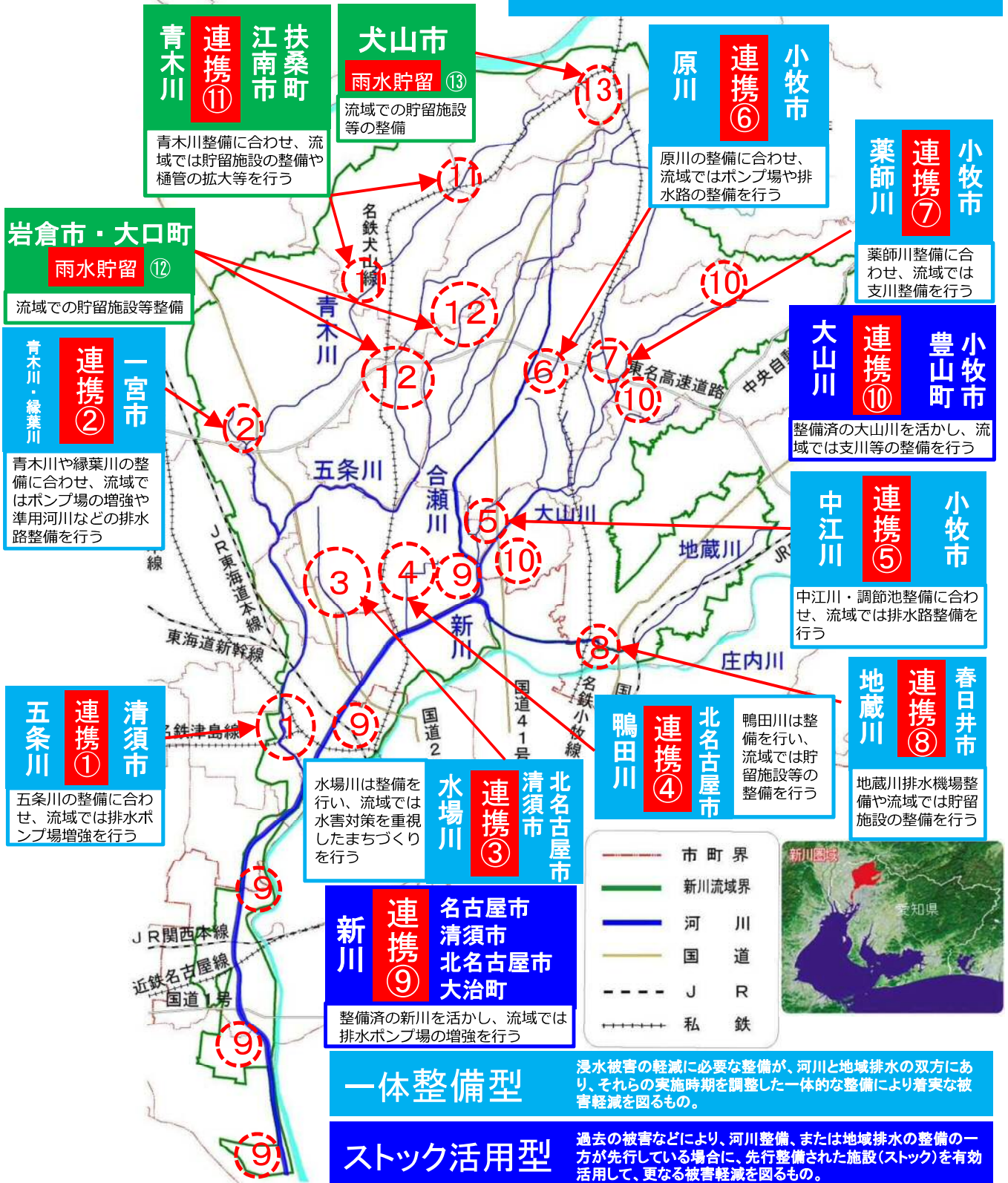
#### 【5月15日～21日は総合治水推進週間です】

新川流域総合治水対策協議会

【構成員】国土交通省、愛知県、名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町

# 1) 主な連携事業について

愛知県と流域市町は連携して、  
水害対策に取り組んでいます。



## 一体整備型

浸水被害の軽減に必要な整備が、河川と地域排水の双方にあり、それらの実施時期を調整した一体的な整備により着実な被害軽減を図るもの。

## ストック活用型

過去の被害などにより、河川整備、または地域排水の整備の一方が先行している場合に、先行整備された施設(ストック)を有効活用して、更なる被害軽減を図るもの。

## 中上流対策型

下流からの河川の抜本的な整備が当面及ばない中上流域において、放水路や遊水地の活用や中流施設の整備により、浸水常襲箇所等の被害軽減を図るもの。

ここに挙げた以外の事業等も含め、計画の詳細な進捗状況については新川流域総合治水対策協議会のホームページにおいて公表しています。  
<http://www.sougo-chisui.jp/>

**新川流域総合治水対策協議会**



# 原川の改修とポンプ場等の一体的な整備

浸水被害を軽減するために、小牧市は地域の雨水を川に流すため、ポンプ場等の整備を行っています。これに合わせ、愛知県ではこの雨水を受け入れるため、原川の改修を行っています。



(平成26年9月撮影)



◀ 浸水被害の状況

原川では東海豪雨を始め、近年でも平成20年8月、平成21年10月の豪雨などにおいて、浸水被害が発生しています。

小牧市ではこれら浸水被害の軽減を目的として、ポンプ場の新設や排水路の整備を行い、地域の雨水を原川へと排水します。

愛知県では原川の川幅を広げ、堤防を築造することで、地域からの排水をより多く受け入れることが可能となります。これらを同時に行うことで、効果的に浸水被害が軽減されることとなります。



▼ 整備前の状況



▼ 現在の施工状況

(平成27年1月撮影)



原川 連携 ⑥ 小牧市



# 地蔵川排水機場(仮)整備と雨水貯留施設の整備を進めます

平成 23 年 9 月の台風 15 号など、度重なる浸水被害の軽減のため、愛知県は地蔵川排水機場(仮称)の整備を行い、洪水の一部を地蔵川から八田川へ排水します。春日井市は地域で雨水を貯留する施設の整備を行っています。この連携した取り組みにより早期の効果発現を目指します。

## 排水機場の整備【県】



## 雨水貯留施設の整備【市】



【←】勝川公園雨水調整池は、平成 25 年度末に完成し、平成 26 年 8 月の豪雨などで雨水を貯留し、周辺の浸水被害の軽減に効果がありました。  
(貯留量：約 5,000m<sup>3</sup>)



はなのき公園の地下に雨水調整池が完成し、今後の浸水被害の軽減が期待できます。(貯留量：約 3,000m<sup>3</sup>)



地蔵川排水機場(仮)の整備により、下流の新地蔵川へ流れる洪水を少なくすることができ、新地蔵川や新川の水位を下げる効果も期待できます。

地蔵川 連携 ⑧ 春日井市



# 整備済の新川を活かしたポンプ場整備

愛知県は、東海豪雨の被害を受け、その後概ね五年間で、新川の抜本的な整備を行いました。この整備により得られた新川の洪水を流す能力を活かして、沿川の市町は、新川へ雨水を排水するポンプ施設の整備に取り組んでいます。



清須市：芳野ポンプ場（平成26年12月撮影）



東海豪雨（平成12年9月）の被害の様子



清須市は、芳野ポンプ場を新設しています。平成28年に供用開始する予定で、地域排水の改善期待できます。（排水量：6.22m<sup>3</sup>/s）



北名古屋市は、久地野ポンプ場の増強を行いました。平成27年3月より供用しており、今後の豪雨被害の軽減に効果が期待できます。（排水量：4.36m<sup>3</sup>/s→7.42m<sup>3</sup>/s）



【→】大治町は、砂子第一ポンプ場の増強を行いました。

平成26年5月から供用しており、地域排水に貢献しています。

（排水量：1.2m<sup>3</sup>/s→1.5m<sup>3</sup>/s）



新川連携⑨

名古屋市  
清須市  
北名古屋市  
大治町

名古屋市  
清須市  
北名古屋市  
大治町

## 2) 平成26年度

### 新川流域水害対策計画の進捗状況

平成27年5月

新川流域総合治水対策協議会

国土交通省 愛知県 名古屋市 一宮市 春日井市 犬山市

江南市 小牧市 稲沢市 岩倉市 清須市 北名古屋市

あま市 豊山町 大口町 扶桑町 大治町



## 1. はじめに

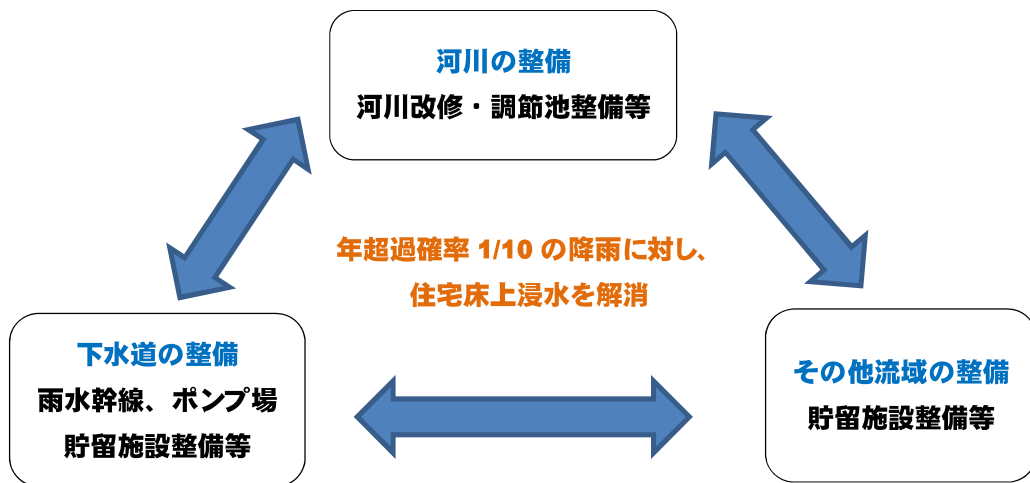
### (1) 背景

#### ○特定都市河川浸水被害対策法の適用

平成12年9月の東海豪雨で甚大な浸水被害を受け、「河川激甚災害対策特別緊急事業」や「流域対策緊急5カ年計画」の実施により、新川本川の治水安全度は一定の水準に達したものの、流域全体としては、十分な安全度に達しているとはいえない状況であった。そこで、新川流域では、特定都市河川浸水被害防止法の適用を図り、平成19年10月には河川管理者、下水道管理者及び流域内の地方公共団体が共同で「新川流域水害対策計画」を策定し、流域での連携を強化して、効率的な浸水被害対策に取り組んでいる。また、流域の浸水被害の発生状況などを踏まえ、さらなる治水対策を推進するため、流域対策を強化するなど平成26年10月に計画の変更を行った。

#### ○流域水害対策計画の目的

流域水害対策計画は、河川の整備、下水道の整備、その他流域の整備が連携して、概ね30年間で、年超過確率1/10の降雨に対し、著しい浸水被害（住宅床上浸水被害）を解消することを目的とする。



### (2) モニタリング

新川流域水害対策計画では、各施策の進捗状況などを把握し、関連事業間の連携やその実効性の確認のため協議会において、モニタリングを行い公表することとしている。

今回は平成26年度分のモニタリング結果をとりまとめた。

2. 平成26年度の出水状況等

(1) 平成26年度の出水状況まとめ

平成26年度においては、流域の各地で、局地的で短時間ではあるが時間60mm程度(概ね年超過確率1/10規模の降雨)の豪雨が発生した。貯留施設等が効果を発揮したものの家屋被害も発生しており、引き続き整備の着実な推進が必要である。

(2) 新川流域における代表的な降雨

年月日	60分最大雨量 / 総雨量 (観測所名)	家屋被害状況 (水害統計調査による)
H26.7.5 局地豪雨	39mm / 50mm (春日井雨量観測所)	床下浸水1戸
H26.7.20 局地豪雨	60.5mm / 67.0mm (江南市消防本部 時間最大雨量)	床上浸水2戸 床下浸水44戸
H26.8.6 局地豪雨	64mm / 101mm (春日井雨量観測所)	床上浸水11戸 床下浸水36戸
H26.8.8 局地豪雨	59mm / 101mm (一宮アメダス 時間最大雨量)	床下浸水9戸
H26.8.15~17 局地豪雨	60mm / 79mm (久地野雨量観測所) 45mm / 46mm (一宮雨量観測所)	—

東海3県で  
局地的豪雨

東海3県は、早夕方から局地的に豪雨となった。名古屋地方気象台によれば、名古屋市守山区では午後4時半までの1時間に約100mmの雨が降り、愛知県春日井市でも約90mmを観測。岐阜県恵那市では午後5時までの1時間に約80mm、三重県松阪市の細野峠では同様の雨量計で同じく66mmの大雨が降った。春日井市は東部の1万5817世帯に避難勧告を一時、発令。市内では住宅の軒が床上浸水、1軒が床下浸水に異変された。名古屋市も北区の約1万5400世帯に避難準備勧告を一時発令した。プロ野球の中日一徳戦が開催されたナゴヤドーム(名古屋市東区)では試合前練習中の午後4時前、グラウンドの照明灯すべてが一瞬停電した。近くに警備員があり、一時的に電圧が低下したことが原因といわれる。

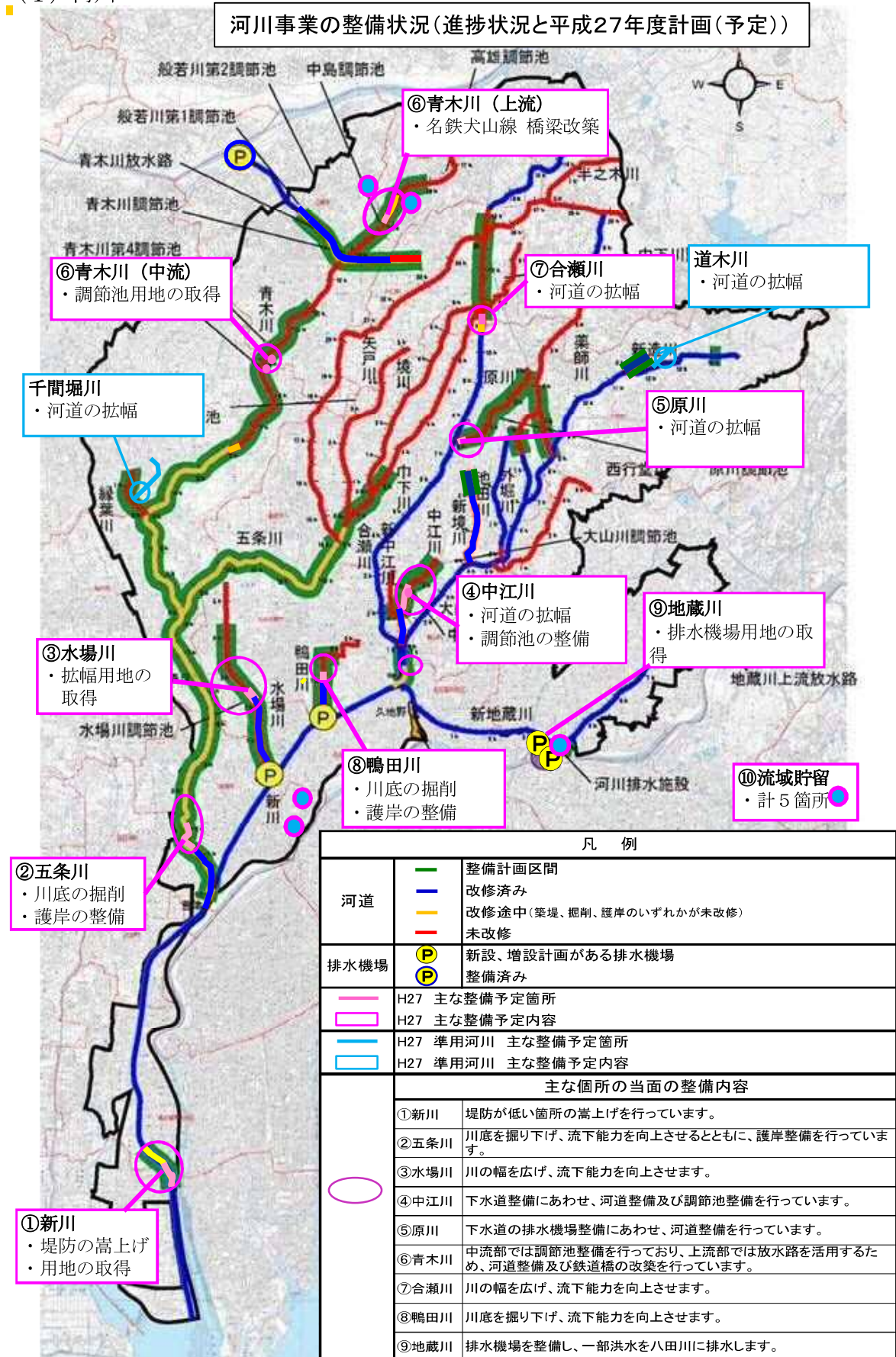
8月6日 名古屋市や春日井市を中心とした豪雨  
▼地蔵川の出水状況





### 3 各種施策の進捗状況

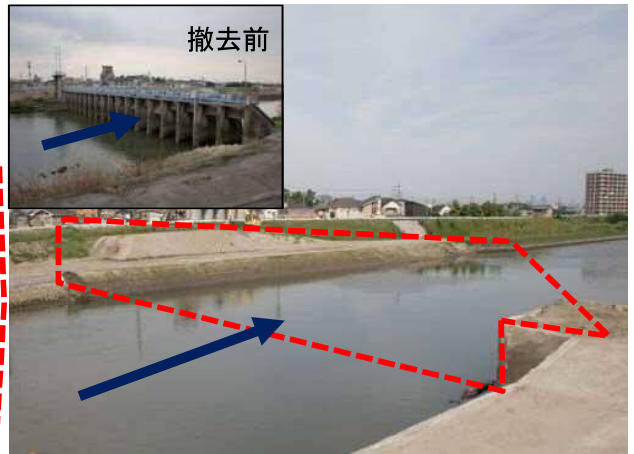
#### (1) 河川



# 新川流域施工状況



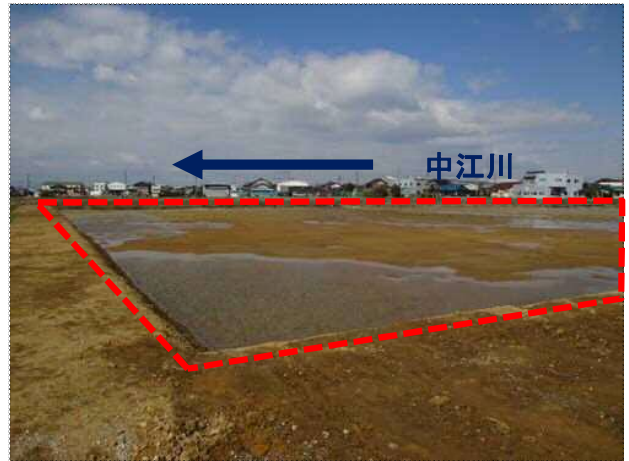
①新川：堤防嵩上げ状況



②五条川：法界門堰撤去状況



③水場川：改修予定箇所（遊水地予定地）



④中江川：遊水地掘削状況



⑤原川：河道拡幅の状況



⑥青木川上流：名鉄犬山線橋梁施工箇所  
(本線復旧完了状況)



# 新川流域施工状況



⑦合瀬川：護岸工施工状況



⑧鴨田川：護岸工施工状況



⑨地蔵川：排水機場建設予定箇所

◆青木川放水路の稼働

平成26年度は、合計15万 $m^3$ の洪水を木曾川へ放流し、また12回の管内貯留を行って、浸水被害軽減や下流への流量低減に効果を発揮した。

	稼働回数	放流量
平成7～25年度	51回	約338万 $m^3$
平成26年度	2回	約15万 $m^3$

※約15万 $m^3$ ≒小学校の25mプール約300杯分(25m×15m×1.5mで計算)





# ◆新境川の改修等による治水効果を確認

	平成17年8月豪雨	平成26年8月豪雨
降水量	33mm/h	33.5mm/h
被害状況	床下浸水3戸 道路冠水	<b>浸水被害なし</b>

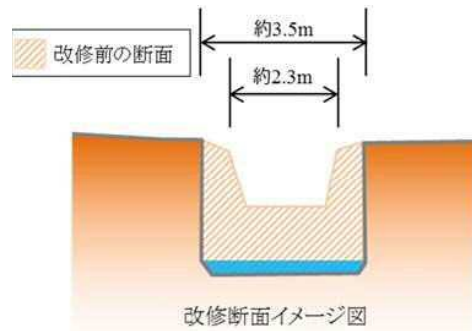
## 同等の降雨でも浸水被害が発生せず、治水効果を確認



小牧市中心市街地を流れる新境川は、これまでたびたび浸水被害を受けており、平成17年8月16日~17日の豪雨では、最大時間雨量33mmの豪雨により、床下浸水被害や道路冠水が発生しました。

この被害を契機に、愛知県は、新境川の整備に着手し、平成26年5月に整備が完了しました。

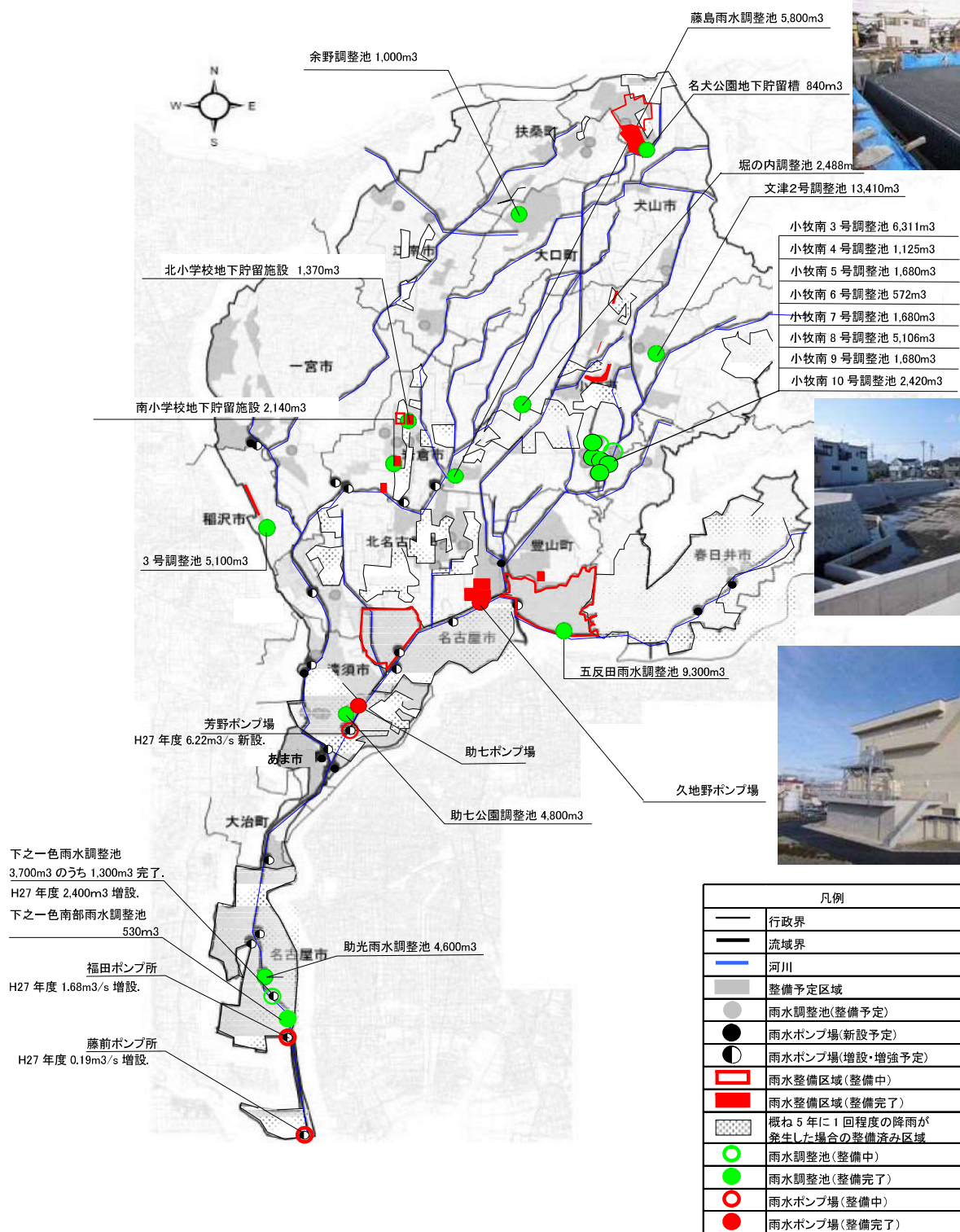
平成26年8月17日には、流域に60分最大33.5mmの降雨がありましたが、沿川で浸水被害はありませんでした。これは新境川の整備による効果や、小牧市がこれまでに整備した貯留施設の貯留効果などによるものと考えられます。



※1 平成17年8月の降水量は時間最大雨量、平成26年8月の降水量は60分最大雨量  
 ※2 被害状況は水害統計調査及び降雨後の現地調査による

## (2) 下水道事業

下水道事業の整備状況(進捗状況とH27年度計画)



	平成19~25年度	平成26年度	合計	計画目標※	進捗率
下水道雨水整備	537ha	37ha	574ha	6032ha	10%
下水道貯留施設	6.5万m <sup>3</sup>	0.6万m <sup>3</sup>	7.1万m <sup>3</sup>	20.2万m <sup>3</sup>	35%
下水道ポンプ場	11.1m <sup>3</sup> /s	3.1m <sup>3</sup> /s	14.1m <sup>3</sup> /s	154m <sup>3</sup> /s	9%



◆貯留施設（下水道施設以外）の整備

流域市町が計画策定以降に実施した貯留施設整備の進捗状況。

平成19～25年度	平成26年度	合計	計画目標	進捗率
14.4万 <sup>3</sup>	1.3万 <sup>3</sup>	15.7万 <sup>3</sup>	25.1万 <sup>3</sup>	62%



平成26年度整備が完了した施設の例

【左上】はなのき公園

(約3,000<sup>3</sup>：春日井市)

【右上】北部中学校（グラウンド）

(約3,000<sup>3</sup>：江南市)

【左下】早苗公園

(約1,500<sup>3</sup>：小牧市)

◆計画策定以前の貯留施設の保全（保全調整池の指定等）

流域内に設置されている既存の防災調整池（100<sup>3</sup>以上）を「保全調整池」として指定し、その機能の保全に取り組んでいる。



保全調整池指定施設の看板

	指定日				合計
	H19.3.9	H25.4.5	H26.3.14	H27.4.10	
基数	77基	78基	113基	7基	275基
容量	3.2万 <sup>3</sup>	23.9万 <sup>3</sup>	17.5万 <sup>3</sup>	2.3万 <sup>3</sup>	47.0万 <sup>3</sup>

上表の内、86基、約4.0万<sup>3</sup>は民間施設である。

他に、下水道管理者が整備した貯留施設など保全調整池指定の対象外の施設等が、62基、約2.2万<sup>3</sup>整備されている。これらは、今後も保全されるよう取り組んでいく。

※流域内の貯留施設のまとめ

以上により、平成26年度までに新川流域全体で439基、約9.2万<sup>3</sup>の貯留施設が整備または保全され、浸水被害の軽減に効果を発揮している。

◆許可により雨水流出抑制対策が行われた開発等

特定都市河川浸水被害対策法第9条、第14条により、流域内で行う500m<sup>2</sup>以上の開発等（雨水浸透阻害行為＝雨水がしみこみにくくなる行為）には、許可等が必要。許可等の対象となり、雨水流出抑制対策（貯留施設、透水性舗装、浸透マス等）が行われた開発等は下表の通り。

	平成19～25年度	平成26年度	合計
500m <sup>2</sup> ～1000m <sup>2</sup>	1156件 0.85km <sup>2</sup>	167件 0.13km <sup>2</sup>	1320件 0.98km <sup>2</sup>
1000m <sup>2</sup> 以上	773件 2.23km <sup>2</sup>	110件 0.29km <sup>2</sup>	882件 2.51km <sup>2</sup>
合計	1929件 3.08km <sup>2</sup>	277件 0.42km <sup>2</sup>	2202件 3.49km <sup>2</sup>

※統計調査結果（H27.2発表）によると、平成25年度には、流域でおよそ0.15km<sup>2</sup>の市街化が進行したと推定された（計画の想定は1年あたり0.75km<sup>2</sup>）。

これらの開発等には、右の標識看板が設置されている。



◆準用河川等の整備

市町が管理する準用河川等について、本川の整備と連携して整備を進めている。



準用河川千間堀川改修（一宮市）



準用河川道木川改修（小牧市）



◆防災情報の公表状況

・都市洪水想定区域図の指定状況

河川の氾濫により浸水が想定される区域、水深を指定している。

対象河川	降雨規模(年超過確率)	公表日	閲覧方法
新川	24時間376mm(1/100)	H20.6	県河川課HP ( <a href="http://www.pref.aichi.jp/kasen/">http://www.pref.aichi.jp/kasen/</a> )
五条川下流	24時間283mm(1/50)	H20.6	
五条川上流	24時間277mm(1/30)	H21.6	新川流域総合治水対策協議会HP ( <a href="http://www.sougo-chisui.jp/">http://www.sougo-chisui.jp/</a> )
青木川	24時間277mm(1/30)	H21.6	
大山川	24時間277mm(1/30)	H21.6	県河川課、関係建設事務所での縦覧
新地蔵川	24時間205mm(1/10)	H20.6	

※新地蔵川を除き、水防法による浸水想定区域図を都市洪水想定区域図としている。

※合瀬川も特定都市河川に指定されているが、現況でも計画規模の降雨では河川の氾濫が発生しないことから、区域の指定はしていない。

・都市浸水想定区域図の指定状況

内水氾濫により浸水が想定される区域、水深を指定している。

対象市町	降雨規模(年超過確率)	公表日	閲覧方法
名古屋市、春日井市、岩倉市、清須市	1時間63mm (1/10)	H20.6	新川流域総合治水対策協議会HP ( <a href="http://www.sougo-chisui.jp/">http://www.sougo-chisui.jp/</a> )
清須市(旧春日町)	1時間57mm (1/7)	H20.6	
一宮市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町	1時間52mm (1/5)	H20.6	各市役所、役場HP 各市役所、役場での縦覧

・洪水ハザードマップ作成状況

市町名	公表年月(最新)	市町名	公表年月(最新)
名古屋市	H27.4	清須市	H24.4
一宮市	H19.7	北名古屋市	H21.4
春日井市	H22.5	あま市	H24.3
犬山市	H20.2	豊山町	H15.8
江南市	H21.8	大口町	H26.3
小牧市	H16.3	扶桑町	H23.3
稲沢市	H21.4	大治町	H22.4
岩倉市	H23.4		

※犬山市は防災マップ

※各市役所、役場のホームページに掲載されている。

※国土交通省ハザードマップポータルサイトからもリンクされている。

<http://disaportal.gsi.go.jp/>

◆洪水予報河川、水位周知河川の状況

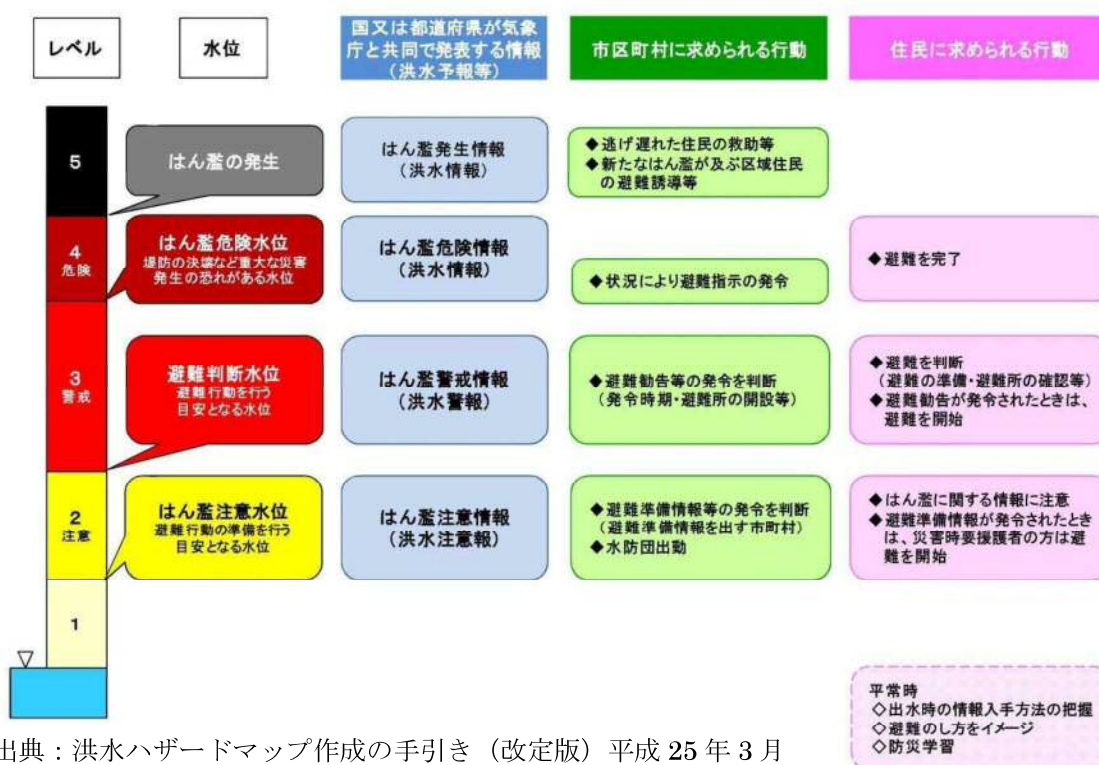
- ・洪水予報河川：対象河川において、県と気象庁が共同で情報を発表している。

平成26年度の洪水予報の発表はなし。

- ・水位周知河川：対象河川において、県が避難判断水位到達情報を発表している。

河川名	基準地点	区 間	指定日	発表状況(平成26年度)
				避難判断水位到達情報
五条川 (上流)	曾野	青木川～巾下川	H21.6.1	H26.8.8 7:20 H26.9.25 3:30
青木川	赤池	五条川～般若川	H21.6.1	H26.8.8 7:15

上記の情報は、関係する市町が避難勧告、避難指示等を発令する判断の参考となる。  
対応関係のイメージは下図のとおり。



出典：洪水ハザードマップ作成の手引き（改定版）平成25年3月

国土交通省水管理・国土保全局 河川環境水防企画室



◆排水調整の実施状況

新川流域においては、平成12年9月の東海豪雨災害を契機に、現在の河川の整備水準を上回る洪水に見舞われ、河川からの越水及び破堤などによる氾濫のおそれがあるとき、外水氾濫による沿川の甚大な浸水被害の発生を回避し、人的被害の防止並びに財産及び経済的被害を軽減することを目的として、平成13年6月に新川流域総合治水対策協議会において「新川流域排水調整要綱」を制定し、運用している。

＜平成26年度の運用状況＞

平成26年度においては、排水調整の「停止水位」及び「準備水位」への到達はなかったことから、排水調整は実施していない。

◆その他のソフト対策

愛知県では、水害に備える取り組みを支援している（みずから守るプログラム）。

関係市町での実施状況は下表の通り。

支援事業名	平成26年度実施箇所	平成23年度～ 平成25年度実施箇所
手づくりハザードマップ作成	名古屋市2件 北名古屋市2件 大治町1件	名古屋市7件 小牧市2件 清須市4件 北名古屋市4件 大治町1件
大雨行動訓練	名古屋市1件 北名古屋市2件	名古屋市2件 小牧市2件 清須市4件 北名古屋市4件 大治町1件

※詳しくは愛知県河川課のホームページを参照

#### 4. まとめ

新川流域では、平成19年に流域水害対策計画を県と市で共同策定し総合治水対策を進めており、計画策定後の平成20年8月末豪雨、平成23年台風15号などの被害発生状況を踏まえ、平成26年10月には雨水貯留施設の計画量を増量するなどの計画変更を行ったところである。

この計画に基づく平成26年度の河川や下水道の整備、浸水被害拡大の防止対策について、その進捗状況や効果等を把握したところ、概ね順調に進捗しており、計画の達成に大きな影響を及ぼす要因は見られなかった。

今後も、必要に応じて計画を見直しながら、引き続き事業の推進に取り組んでいく。



## 【新川流域水害対策計画の進捗状況に関する参考資料】

### ◇特定都市下水道の整備状況※1

	雨水整備区域※2				下水道雨水調整池※3				下水道雨水ポンプ場※3			
	整備 予定面積 (ha)	H26年度 整備面積 (ha)	H26年度末 整備面積 (ha)	整備 進捗率 (%)	整備 予定容量 (千m3)	H26年度 整備容量 (千m3)	H26年度末 整備容量 (千m3)	整備 進捗率 (%)	整備予定 排水能力 (m3/s)	H26年度 整備排水能力 (m3/s)	H26年度末 整備排水能力 (m3/s)	整備 進捗率 (%)
	A1	-	B1	B1/A1	A2	-	B2	B2/A2	A3	-	B3	B3/A3
名古屋市	2149	10	325	15.1%	18	0.5	15.7	87.2%	77	0	0	0.0%
一宮市	406	0	0	0.0%	2	0	0	0.0%	10	0	0	0.0%
春日井市	57	0	0	0.0%	14	0	0	0.0%	1	0	0	0.0%
犬山市	291	22	85	29.2%	13	0.8	0.8	6.2%	-	-	-	-
江南市	166	0	0	0.0%	15	0	0	0.0%	-	-	-	-
小牧市	368	0	24	6.5%	55	5.1	40.1	72.9%	2	-	-	-
稲沢市	20	0	20	100.0%	5	0	5	100.0%	-	-	-	-
岩倉市	274	4	49	17.9%	17	0	3.5	20.6%	13	0	0	0.0%
清須市(旧春日町含む)	1075	0	0	0.0%	28	0	4.8	17.1%	35	0	6.4	18.3%
北名古屋	469	0	56	11.9%	33	0	0	0.0%	10	3.1	7.4	74.0%
あま市(旧菟目寺町)	165	0	0	0.0%	-	-	-	-	3	0	0	0.0%
豊山町	213	0	15	7.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
大口町	213	0	0	0.0%	1	0	1	100.0%	-	-	-	-
扶桑町	118	0	0	0.0%	1	0	0	0.0%	-	-	-	-
大治町	48	0	0	0.0%	-	-	-	-	3	0.3	0.3	10.0%
	6032	36	574	9.5%	202	6.4	70.9	35.1%	154	3.4	14.1	9.2%

※1「雨水整備区域」、「下水道雨水調整池」、「下水道雨水ポンプ場」の各整備予定量は、流域水害対策計画に定めた年度から概ね30年間の整備予定量です。

※2雨水整備区域の「整備面積」は、下水道(公共下水道や都市下水路)や市町が管理する法定外水路及び農業用排水路などの改修や増強、雨水調整池の整備を「下水道事業」で行うことにより、都市浸水に対する安全度を向上させた区域面積を示します。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、雨水調整池や雨水ポンプ場など流末の整備状況により異なります。

※3下水道雨水調整池の「整備容量」及び下水道雨水ポンプ場の「整備排水能力」は施設それ自体の整備量を表しています。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、施設が受け持つ区域内の管路の整備状況により異なります。

### ◇地方公共団体等が実施した雨水貯留浸透対策の位置及び容量

	流域水害対策計画										進捗率 (容量ベース) D/A	
	計画容量 (m3) A	貯留施設実績				浸透施設実績						
		計画策定(H19) からH25年度迄 対策実施容量 B	前年度(H26) 対策実施容量 C	H19~総対策量 合計 D=B+C	透水性舗装(m2)		透水トレンチ(m)		浸透樹(個)			
					H26年度 整備面積	H26年度末 整備面積	H26年度 整備延長	H26年度末 整備延長	H26年度 整備数	H26年度末 整備数		
合計	252,200	143,891	13,071	156,962	4,754	68,920	0	414	2	263	62.2%	
名古屋市	5,000	4,837	0	4,837	0	0	0	0	0	0	96.7%	
一宮市	71,000	54,069	132	54,201	0	13,525	0	0	0	203	76.3%	
春日井市	46,300	33,799	3,039	36,838	707	4,202	0	0	0	0	79.6%	
犬山市	0	0	0	0	0	630	0	252	0	15	-	
江南市	21,700	1,400	3,000	4,400	132	132	0	0	2	2	20.3%	
小牧市	19,500	8,607	2,050	10,657	3,315	31,258	0	115	0	21	54.7%	
稲沢市	3,000	0	0	0	0	4,485	0	0	0	0	0.0%	
岩倉市	0	0	0	0	0	1,102	0	0	0	0	-	
清須市(旧春日町含む)	20,300	15,330	0	15,330	0	4,430	0	0	0	0	75.5%	
北名古屋	40,000	10,848	3,900	14,748	600	4,997	0	0	0	22	36.9%	
あま市(旧菟目寺町)	200	163	0	163	0	0	0	0	0	0	81.5%	
豊山町	2,200	2,200	0	2,200	0	0	0	0	0	0	100.0%	
大口町	5,000	600	500	1,100	0	1,983	0	0	0	0	22.0%	
扶桑町	18,000	12,038	450	12,488	0	2,176	0	47	0	0	69.4%	
大治町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

◇雨水浸透阻害行為の対策工事の中で設置された雨水貯留浸透施設の位置及び容量

	平成26年度					平成18年1月1日～平成27年3月31日までの累計				
	許可件数 (9条・14条)	対策施設				許可件数 (9条・14条)	対策施設			
	件数	貯留 (m <sup>3</sup> )	透水性 舗装 (m <sup>2</sup> )	浸透 トレンチ (m)	浸透樹 (個)	件数	貯留 (m <sup>3</sup> )	透水性 舗装 (m <sup>2</sup> )	浸透 トレンチ (m)	浸透樹 (個)
名古屋市	22	386	5,156	165	11	215	5,330	45,517	3,493	474
一宮市	25	943	16,301	201	31	207	6,486	120,748	2,352	253
春日井市	6	322	10,889	394	37	91	16,230	84,268	1,769	157
犬山市	22	1,064	17,346	130	8	128	5,474	69,637	1,224	205
江南市	24	813	14,139	83	15	160	3,869	85,503	1,763	427
小牧市	39	4,237	21,287	202	5	422	45,502	201,553	2,638	365
稲沢市	4	165	5,552	0	0	38	804	28,024	61	130
岩倉市	27	1,515	7,022	48	17	130	7,637	49,268	991	231
清須市	16	1,046	7,778	69	0	125	7,539	41,408	870	125
北名古屋市	39	4,752	16,607	99	15	312	13,910	108,989	2,348	566
豊山町	13	655	9,889	10	0	112	3,073	49,778	1,105	169
大口町	19	1,170	20,823	11	8	131	10,355	88,634	1,183	210
扶桑町	16	354	3,590	195	12	103	2,339	42,478	1,436	128
あま市	4	21	1,734	0	0	22	379	4,551	150	46
大治町	1	24	0	0	0	6	137	664	150	0
合計	277	17,467	158,113	1,607	159	2,202	129,064	1,021,020	21,533	3,486

◆雨水浸透阻害行為面積別件数及び面積(9条・14条)

雨水浸透阻害行為面積	H17年度		H18年度		H19年度		H20年度		H21年度		H22年度	
	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )
500㎡～1,000㎡未満	29	21,861	152	112,976	177	135,462	186	139,396	108	81,959	116	86,956
1,000㎡以上	20	64,603	135	340,467	146	501,418	121	338,434	57	211,695	69	151,408
合計	49	86,464	287	453,443	323	636,880	307	477,830	165	293,654	185	238,364
雨水浸透阻害行為面積	H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		合計			
	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )	許可件数	合計面積 (m <sup>2</sup> )		
500㎡～1,000㎡未満	134	83,438	118	90,397	133	98,973	167	126,955	1,320	978,373		
1,000㎡以上	65	163,565	70	238,818	89	211,426	110	292,920	882	2,514,754		
合計	199	247,003	188	329,215	222	310,399	277	419,875	2,202	3,493,127		

◆許可件数内訳(9条・14条及び16条(変更))

9条	14条	小計	16条
2,146	56	2,202	611

※許可件数、対策施設及び阻害行為面積については、平成26年3月31日現在における集計値を示しており、法第16条、第18条に基づく変更ならびに廃止があった場合は、変更後の値としております。



◇保全調整池の指定

		H19.3.9指定告示		H25.4.5指定告示		H26.3.14指定告示		H27.4.10指定告示		合計	
		件数	容量	件数	容量	件数	容量	件数	容量	件数	容量
名古屋市告示	名古屋市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一宮市告示	一宮市	-	-	5	21,430	10	10,490	-	-	15	31,920
春日井市告示	春日井市	22	5,264	7	15,023	30	52,884	3	18,832	62	92,003
愛知県告示	犬山市	12	6,518	10	48,548	6	2,798	-	-	28	57,864
	江南市	2	1,968	13	40,470	1	514	-	-	16	42,952
	小牧市	20	7,545	11	30,461	19	48,954	2	3,923	52	90,883
	稲沢市	-	-	2	1,778	-	-	-	-	2	1,778
	岩倉市	-	-	-	-	4	2,434	-	-	4	2,434
	清須市	-	-	3	2,533	10	29,682	1	709	14	32,924
	北名古屋市	5	1,303	6	16,945	4	12,350	1	215	16	30,813
	あま市	-	-	3	1,683	-	-	-	-	3	1,683
	豊山町	-	-	7	9,328	2	6,568	-	-	9	15,896
	大口町	5	1,962	7	40,499	-	-	-	-	12	42,461
	扶桑町	11	7,577	3	9,010	27	8,126	-	-	41	24,713
	大治町	-	-	1	1,200	-	-	-	-	1	1,200
合計		77	32,137	78	238,908	113	174,800	7	23,679	275	469,524

◇地方公共団体の条例・要綱に基づく指導等により設置された雨水貯留浸透施設の位置及び容量

	前年度(平成26年度)実績			
	貯留施設 (m <sup>3</sup> )	浸透施設		
		透水性舗装 (m <sup>2</sup> )	透水トレンチ (m)	浸透枡 (個)
合計	0	0	0	0
名古屋市	0	2,601	173	210
一宮市	0	3,291	0	0
春日井市	2,602	18,519	991	113
犬山市	0	0	0	0
江南市	240	261	0	13
小牧市	0	0	0	0
稲沢市	0	0	0	0
岩倉市	0	0	0	0
清須市(春日町含む)	1	720	0	0
北名古屋市	100	0	0	0
あま市(旧甚目寺町)	0	0	0	0
豊山町	0	0	0	0
大口町	0	0	0	0
扶桑町	5	355	75	1
大治町	0	0	0	0

## 平成27年度の総合治水PR活動について

総合治水対策は、流域住民の皆様のご理解とご協力が重要であることから「総合治水推進週間（5月15日～21日）」が平成3年度に制定されました。新川流域総合治水対策協議会ではその趣旨を受け、総合治水推進週間を始めとして、各種PR活動を実施しています。

### 総合治水PRイベント

流域内のショッピングセンターを中心に、パネルの展示やPRDVDの上映等により、総合治水の取り組みの紹介、県・市町が実施している治水事業の進捗や効果のPR、防災に関する情報提供などを行います。

#### 開催場所

- ①一宮市、稲沢市、岩倉市内のショッピングセンター等
  - ・テラスウォーク一宮（6月6日（土）、6月7日（日））
  - ・リーフウォーク稲沢（7月11日（土）、7月12日（日））
  - ・岩倉市内（未定）



イベントのイメージ（平成26年度イオン小牧店他）

- ②流域内市町、県庁及び関係建設事務所等

5月8日から7月30日までの1週間ずつ、流域内の市町・建設事務所において、パネル等を持ち回りで展示します。（県庁地下通路は5/15～21に展示）

- ③県庁公開イベント等

また、総合治水推進週間内には関係機関の各庁舎に懸垂幕等を掲出して週間をPRしています。（県庁正面玄関には横看板を5/15～21まで掲示）



### ホームページによるPR

協議会にてホームページを作成し、県や各市町、民間で行われている総合治水対策を紹介するなど、住民等に向けて情報を発信しています。

<http://www.sougo-chisui.jp/>

（注：写真はH26実施状況）